

今日のおおたか中 令和2年6月8日（月）

♪ 音楽科③ 『Show must go on!』 ♪

こんにちは！今回は「**Show must go on!**」がテーマです。

～今だからこそできる！届ける音楽～

現在、劇場公演（映画、演劇、ミュージカル、オーケストラ等の演奏会など）が延期・中止されているなか、音楽や芸術で世の中に元気を届けようと、さまざまなプロジェクトを立ち上げ動画を配信しています。そこには、「**Show must go on!**」という思いを胸に、音楽や芸術を届ける仕事をしている人たち（役者さんや音楽家）の思いがあります。

「**Show must go on!**」・・・「何か問題があっても続けなければならない」
「ショーは終わらない」

この言葉を聞くと「諦めてはいけないんだ！」という思いが沸き上がってきます。

ミュージカル界の音楽の巨匠、アンドリュー・ロイド・ウェバーさんは「**Show must go on!**」というYouTubeチャンネルを開設しています。彼の作品には、「オペラ座の怪人」「キャッツ」「エビータ」など数々の大ヒット作品があります。「劇場で公演ができない今だからこそ、Stay Homeで楽しんでほしい」という思いで楽曲を配信しています。

他にも皆さんの好きなアーティストさんがいろいろな企画を立て、動画を配信したりしていますよね。ぜひこの機会にたくさんの音楽を発見し楽しんでください♪

～今だから観たい！「天使にラブ・ソングを」～

先日、「視聴者の今観たい映画！」ということで、ミュージカル映画「天使にラブ・ソングを」が放送されていました。観た人もいるのではないのでしょうか？どれも明るくて、楽しく活気にあふれる曲ばかりが詰まった作品です。教会に響きわたる美しい讃美歌を歌いあげたあと、体と手拍子でリズムをとり、雰囲気を一気にゴスペル調に変えて歌い上げる彼女たちの姿には圧巻です。

その楽曲が次の2曲です。

「**Hail Holy Queen**」「**I Will Follow Him**」 ぜひ聴いてみてください♪

～時代・社会の変化とともに生き続ける音楽～

ちなみに彼女たちが歌っていた**ゴスペル**、発祥は17世紀までさかのぼります。そこには悲しみと苦しみにあった社会問題（奴隷制度）の中で生きている人々がありました。彼らは福音（ゴスペル）の言葉に救われ、希望をもち自由の身になれることを仲間と望んで、アフリカのビート感を持ち続け心から歌って踊っていました。これは「スピリチュアルズ」と呼ばれ、ゴスペルの原型と言われています。歌い続けた彼らと、時代の変化や音楽の発展に伴い、1930年代にゴスペルが誕生し、世界中の人々に愛されている音楽の一つとなっています。みなさんも興味のあるジャンルの歴史をぜひ調べてみましょう！一味違った音楽に聞こえるかもしれません♪